



野球で福島を元気に!
 繋げよう絆・広げよう地域の輪



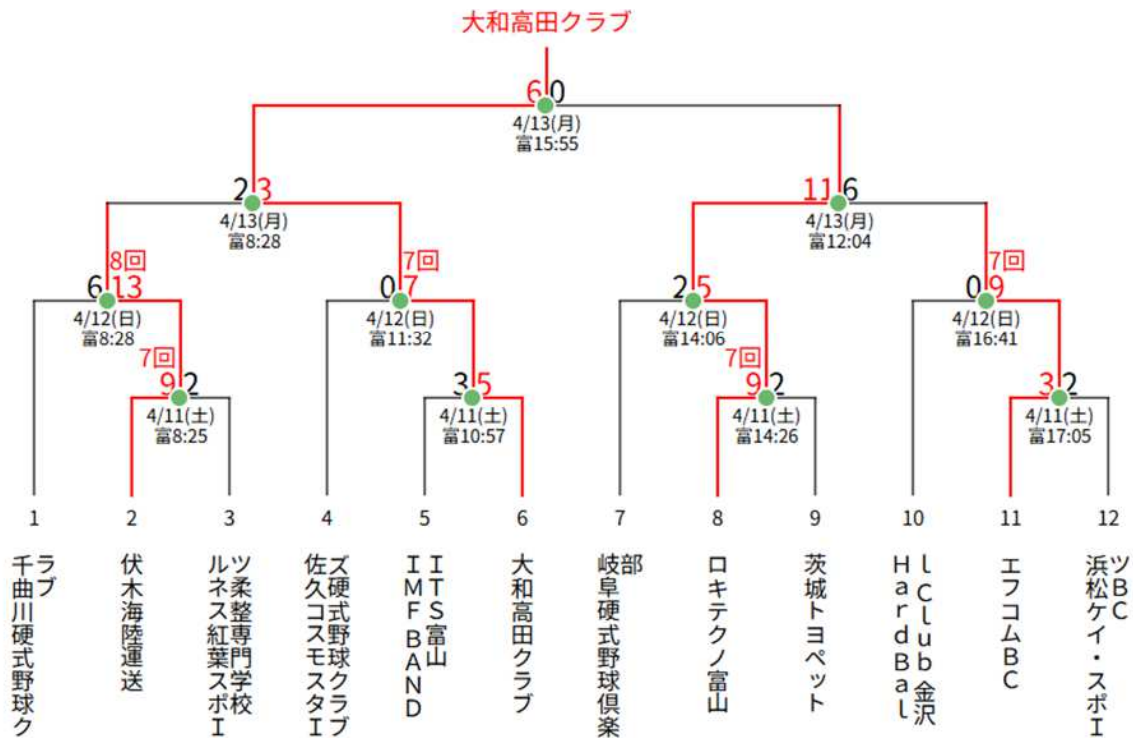
エフコムベースボールクラブ

第67回 JABA富山大会（富山市長旗争奪）

◇◇ 試合結果 ◇◇

一回戦	V S	浜松ケイ・スポーツBC	(3 対 2)	勝利
二回戦	V S	Hard Ball Club 金沢	(9 対 0)	勝利
準決勝	V S	ロキテクノ富山	(6 対 1 1)	敗戦

初のJABA富山大会はベスト4！



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

道方康友監督、松嶋拓郎主将、八百板飛馬副主将、八百板卓丸副主将より
大会のコメントをいただきました!



道方 康友 監督

JABAの地方大会の一つである富山大会にエフコムBCとして初出場しましたが、初優勝とはいかず3試合目の準決勝で敗退しました。5月以降、目標のクラブ選手権大会や都市対抗野球の予選が始まり、まさにこれからが本番です。富山大会での戦果を本番に良い内容で活かせるように、選手たちは最大限に準備すると思います。成長途上の若いチームですので、今後にご期待ください。皆さんの盛大なご声援をよろしくお願いいたします!



松嶋 拓郎 内野手 (主将)

この度は、遠方まで駆けつけてくれたエフコム大応援団の皆様、一球速報などで応援して下さった皆様、本当にありがとうございました。JABA富山大会に出場出来ることとなり初優勝を目標に挑みましたが、結果は準決勝で敗退となりました。新体制・新戦力加入で不安な一面もあった一方で、練習環境の整備や早めの調整により全員が自信を持って大会に臨めたと思います。東北地区では対戦できない投手との対戦やロースコアの試合を勝ち切れたこと、企業チーム相手に最後まで食らいつけたことは大きな収穫です。今年も打撃が強みのチームです。今大会で見た課題を改善しこれからのつなげます。引き続き、多くの方にグラウンドへ足を運んでいただけるよう、日々の行動から気を引き締めて取り組んでいきます。



八百板 飛馬 外野手 (副主将)

エフコムBC初の富山大会へ、遠方にもかかわらず多くの方々に応援に駆けつけていただき、誠にありがとうございました。皆様の声援が大きな力となり、最後まで全力で戦うことができました。心より感謝申し上げます。今後も期待に応えられるよう更なる努力をしてみたいです。



八百板 卓丸 外野手 (副主将)

JABA富山大会では、温かいご声援をいただきありがとうございました。皆様の応援が最終日まで試合をすることにつながりました。厳しい試合の中で多くの課題が見つかりました。この経験を次に活かして、チーム一丸となって成長していきます。今後ともご声援のほどよろしくお願いいたします。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



エフコムベースボールクラブ

一回戦 V S 浜松ケイ・スポーツBC

東北地区連盟のご尽力により初出場となったJABA富山大会。初顔合わせとなる相手が多く集う中、チームとしても今シーズン最初の大会となり緊張と期待が入り混じる想いで試合に臨んだ。

大会初日の雨の影響により、エフコムBCの初戦は11日(土)の17時過ぎにプレイボールとなった。舞台は雄大な立山連峰を背景とした富山市民球場アルペンスタジアム。記念すべき初戦のマウンドを任せられたのは小口、初回を三者凡退に打ち取り無難な立ち上がりを見た。その裏3番八百板卓丸が風にも乗せた鋭い打球をレフトへ運び三塁打を放つ。その後バッテリミスを逃さず三塁から生還し幸先よく先制点を挙げた。

しかし、その後は相手投手も立ち直り、4回まで追加点を奪えず我慢の展開が続く。試合が動いたのは5回、6番吉田がセンターオーバーの三塁打でチャンスを作ると、8番に起用された新人の中居が負けじとセンターの頭を越える二塁打を放ち貴重な追加点をもぎ取った。

6回まで10三振を奪うなど粘り強い投球を見せていた小口だったが、7回に守備の乱れと安打、四球が重なり2対2の同点。尚も二死満塁のピンチの場面で渡邊拓海がマウンドへ。拓海は次打者をセンターフライに打ち取り無失点で切り抜けた。

その裏、先頭の5番八百板飛馬がレフト戦に技ありの二塁打で出塁し、代走伊藤琉晟。二死後この日のラッキーボーイの中居の打球が相手の失策を誘い、琉晟が全力走で生還し再び1点をリード。8回は拓海が三者連続三振で相手に流れを渡さず9回、そのまま3対2でゲームセット。大応援団のスタンドの声援を背に手に、汗握る接戦を制して大会初戦を白星で飾った。

小口 優太郎 選手<先発>
投手/出身校：東海大浦安高校 ⇒ 東海大学



八百板 卓丸 選手
外野手/出身校：聖光学院高校



吉田 浩隆 選手
内野手/出身校：浦和実業学園高校 ⇒ 富士大学



松嶋 拓郎 選手
内野手/出身校：文星芸大付属高校 ⇒ 仙台大学



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

二回戦 V S Hard Ball Club 金沢

二回戦も初戦同様に第4試合となり夕刻にゲームが始まった。先発の山形は初回、走者を背負いピンチを招く場面もあったが5番打者を三振で抑えて、その後は落ち着いたピッチングを見せた。

その裏の攻撃では、2番松嶋がセンター前へ運び相手の守備がもたつく間に一気に三塁に到達、続く八百板卓丸の内野ゴロの間に生還し先制点を奪った。続く2回は八百板飛馬のセンター前、島崎が粘って四球、大平が外野を割る三塁打、高野がウエストした投球を絶妙なスクイズを決めて3点、その後も打線の勢いが止まらず3回も松嶋、伊藤海斗の二塁打、飛馬、島崎の安打、大平のレフトオーバー等で4点を追加。5回も島崎、大平で1点と計9得点を重ねた。

投手陣は佐藤一希、山上、新人の遠藤の継投で相手打線を完封し、そのまま9対0で7回コールド勝ち。連日のナイターとなった大会二戦目は盤石な試合運びで準決勝進出を決めた。

山形 胤舜 選手<先発>

投手/出身校：弘前学院聖愛高校 ⇒ 青森大学



大平 峻輔 選手

外野手/出身校：東日本大学附属昌平高校
⇒ 日本ウェルネススポーツ大学



高野 光輝 選手

捕手/出身校：聖光学院高校 ⇒ 敬愛大学



島崎 開史 選手

外野手/出身校：日立第一高校 ⇒ 福島大学



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

準決勝 V S ロキテクノ富山

大会3日目、準決勝は前年度本大会優勝の企業チームとの対戦となった。先発は一回戦で好投の渡邊拓海。この日は我慢の投球で初回、四球の走者を2人置いた場面で相手の5番打者に適時打を浴び2点を先制される苦しい立ち上がり。

0対4となった3回の反撃、7番島崎が四球を勝ち取り出塁すると、すかさず盗塁を決めチャンスを作る。二死後、この日は1番に抜擢された中居がセンター前にタイムリーを放ち1点を返した。5対1となった5回には再び島崎が二塁打、渡邊翼の送りバント、9番高野の内野ゴロの間に1点、更に二死から、中居が四球、2番松嶋が安打でつなぎ3番八百板卓丸のセンター前で2点目を挙げて2点差まで詰め寄った。

ピッチャーは山上、小口、山形と登板も、6回以降も得点を許す展開。7回、8回の攻撃は中居、島崎、翼、伊藤海斗、八百板飛馬がヒットを放ち、再度2点差まで追いつける粘りを見せた。が、結果は6対1と善戦むなしく決勝進出は果たせなかった。

渡邊 拓海 選手 <先発>

投手/出身校：酒田南高校 ⇒ 東日本国際大学



中居 泰雅 選手

内野手/出身校：水城高校 ⇒ 日本ウェルネススポーツ大学



八百板 飛馬 選手

外野手/出身校：聖光学院高校



山上 遼真 選手

投手/出身校：弘前学院聖愛高校 ⇒ 仙台大学



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。